

(参考)

「わが村は美しく－北海道」運動



1. 運動の趣旨

北海道は明治初期の開拓以来 130 年、近代的な農業技術等により多くの厳しい自然条件等を克服し、今日では我が国最大の食料基地にまで発展してきました。

さらに近年では、安全な食料の安定的供給といった役割に加え、自然環境の保全、魅力的な景観の形成など、いわゆる多面的機能の十分な発揮が期待されています。

こうした中、北海道の持つクリーンな魅力や都府県にはない農村空間の魅力を地域の資源として活用し、活力のある農山漁村を築くため、「わが村は美しく－北海道」運動を展開しています。

2. 運動の展開方法

この運動は、地域の個性を活かし、地域住民自らが主体となって地域の将来像を描くことにより、次の 3 つのテーマに沿った地域づくり活動を展開するものです。

- * 「景観を育てる」
- * 「地域の特産物を育てる」
- * 「人の交流を育てる」

3. 運動推進のための取り組み

本運動では、多様な活動を行う地域の方々をはじめ、それをサポートしようという行政、企業、NPOなどが、相互に情報を受発信し、活動を支えあうことを基本とし。それぞれの主体の連携により、運動推進のための各種取り組みを行うものです。

<運動推進の取り組み例>

- * 地域づくり活動団体を支援し、啓発を図ることを目的とした地域住民主体の優れた取り組みの表彰。(コンクールの開催)
- * 運動をPRすることを目的とした地域シンポジウムや各地域での運動の更なる浸透・発展を目的とした地域セミナー等の開催
- * 活動団体の交流促進や地域の活動についての情報発信

①「景観を育てる」

- 地域の生活・生産活動、伝統・文化、特色ある自然などの交響により「個性溢れ、誰もが訪れたいくなるような村」として形成される景観
- 地域の環境の保全・創造により「誰もが安心し、住みたいくなるような村」として形成される景観



<景観資源のそば畑―「幌加内町そば活性化協議会」>



<地元の食材にこだわった飯寿司の加工
―「大津漁業協同組合女性部」>

②「地域の特産物を育てる」

- 消費者ニーズに応え、環境との調和に配慮した、安全で安心できるクリーンな食料の提供に向けた取り組み
- 豊かな農林水産資源と原産地にこだわった魅力あふれる特産物から生み出される新たなブランドづくり



<地域資源を活用した海藻おしばー
「利尻町海藻おしばの里づくり実行委員会」>

③「人の交流を育てる」

- 都市など他地域との交流を通じた魅力ある農山漁村の形成と地域の活性化
- 本運動と連携し、新たな観光資源としての北海道の魅力づくり